

9月25日 お坊さんがいっぱい！

今日はセンターに行きアイスカフェーを飲んでいると、ホームステイ先のお母さんが来て、「タム・ブウン」に連れて行ってくれた。「タム・ブウン」とはお布施のことだ。一つの家には15人ほどのお坊さんを呼び、家の中で地面から50センチほど高い12畳ほどのスペースに座ってもらう。お坊さんの前や家の中の机・長椅子には料理が並べられる。まず住民の方がお経を唱える。そのあとにお坊さんたちにお経を唱えてもらう。お経を唱える間は、ずっと手を合わせている。お経が終わりに近づくと移動し、一人ずつお坊さんが使うお椀にご飯を入れていく。炊き立てを入れるので金属製のお椀がとても熱かった。熱い熱いしながらご飯を入れ終わると、またすこし座ってお経を聞いた。お経が終わるとお坊さんにご飯をあげて、自分たちも食べる。面白いのは、お経中にもすこしは喋っていいということだ。また、炊き立てのご飯を入れ後も小声だが普通に喋っていた。信心深いのか、ゆるいのかよくわからないが、みんなお経を唱えたり聞いているときは真剣に見えた。

タム・ブウンでは無料でアイスが配られた。ココナッツアイスがパンで挟まれ、かつ、もち米が入っているのだ。なかなかおいしく、浅山さんが「日曜市で売ったらよさそう」と言っていた。たしかに珍しいので面白そうだ。(↓ココナッツアイス with パン)



その後、家に帰り昼寝をしようとしていると、庭にお坊さんがトラックと共に来るではないか！タム・ブウンのお坊さんではなかったが、6人ほどで来た。ホームステイ先に数日前

から倒れている木を切って運びに来たそうだ。不思議に思ったのは、なぜお坊さんがチェーンソーをブンブン言わして木を切り持って帰るのか、なぜお坊さんが煙草を吸っているのか、だった。よくよく聞いてみると、この木は家具や炭に使われるそうで、それを取りに来たそうだ。タバコをなぜ吸っているのかはわからない。タバコを嗜好品として考えるとあまり修行にならないのじゃないかとも思うのだが……。途中から手伝って木と一緒に運んだが、めちゃくちゃ重かった。にもかかわらず、お坊さんの一人はひょいひょい持っていき、僕が一人では持っていけないだろうと判断した丸太をグイッと持ち上げて運んで行った。タイのお坊さんスゴイ!!!!一番年上と思われるおじいさんがチェーンソーで木を切っていたのだが、このおじいさんもすごくて、二人がかりで縦に転がす丸太を一人で転がしていた。いったい何者なんだ!?ちなみにその丸太をトラックに乗せるのも人力で、トラックに乗せるまでの運搬（倒木からトラックまでは 10m~20mほどの距離）作業はすべて人力であった。無事に作業が終わってあとは風呂に入ってさっぱりした。そうこうするうちに夕飯になった。こうしてお昼寝を逃した座間味だった。

夕飯前におやつをもらった。名前は忘れたが、ココナッツのモチみたいなのをバナナの葉で包んで蒸したらしいものだった。（↓バナナの葉でくるまれたココナッツ菓子）



沖縄にも「カーサバ ムーチー」と言って月桃という草の葉にもちを包んで蒸した料理が有る。葉っぱに包む所は似てるなあ。日本にも柏餅とか笹団子とか、おにぎりを葉っぱで包む習慣もあるか。昔の人の考えることは似てるなあ。それとも同じ技術が伝わったのかなあ。謎。